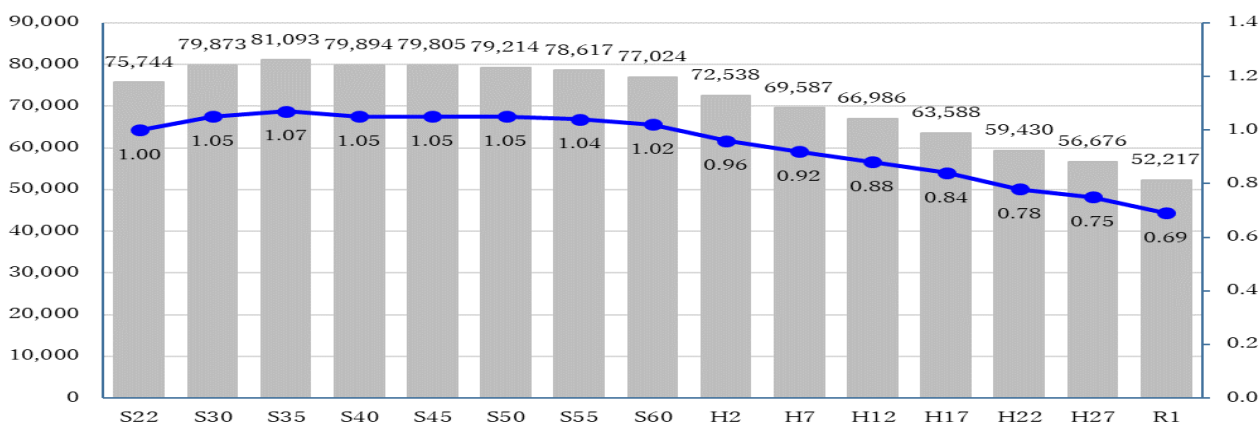




●人口動態分析

(1) 総人口

- 宮古市の総人口を昭和 25 年（75,744 人）からみると、昭和 30～35 年に人口が増加しますが、昭和 40 年以降は、年ごとに人口が減少し、令和元年には 52,217 人（対 S25 年比 0.69）となっています。
- なお、人口の減少状況をみると、昭和 60 年までは微減となっていますが、平成 2 年以降は減少幅が大きくなっています。



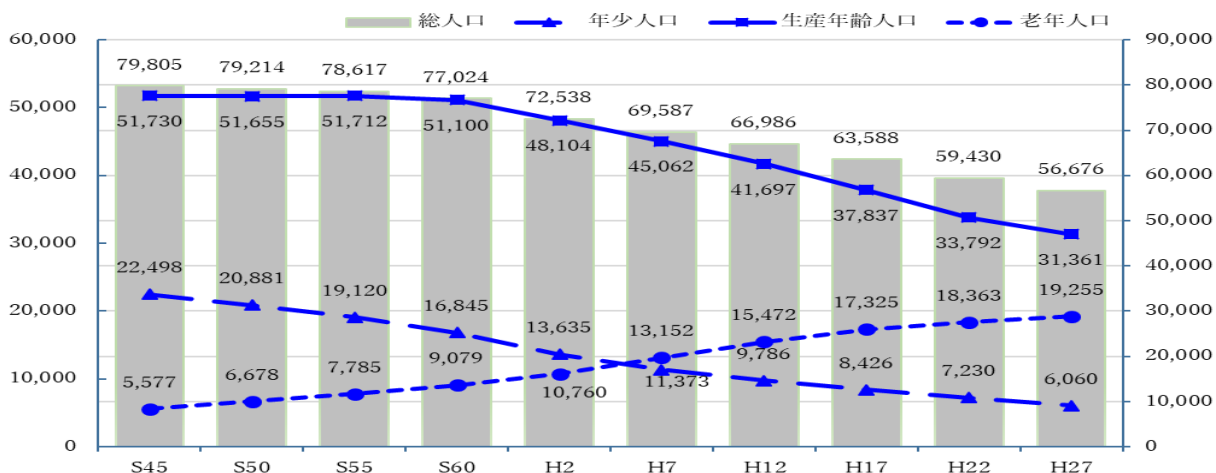
資料：S25～H27）総務省統計局「国勢調査」、R 元）住民基本台帳人口（外国人含む）

図 1 総人口の推移

(2) 年齢別人口

① 年齢 3 区分別人口

- 宮古市における年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）は、年々減少しており、年少人口においては 40 年間で 7 割以上減少し、平成 27 年には 6,060 人となっています。
- 一方で、老年人口（65 歳以上）は、40 年間で約 3.5 倍に増加し、平成 27 年には 19,255 人となっています。



資料：総務省統計局「国勢調査」 総人口に年齢不詳含む

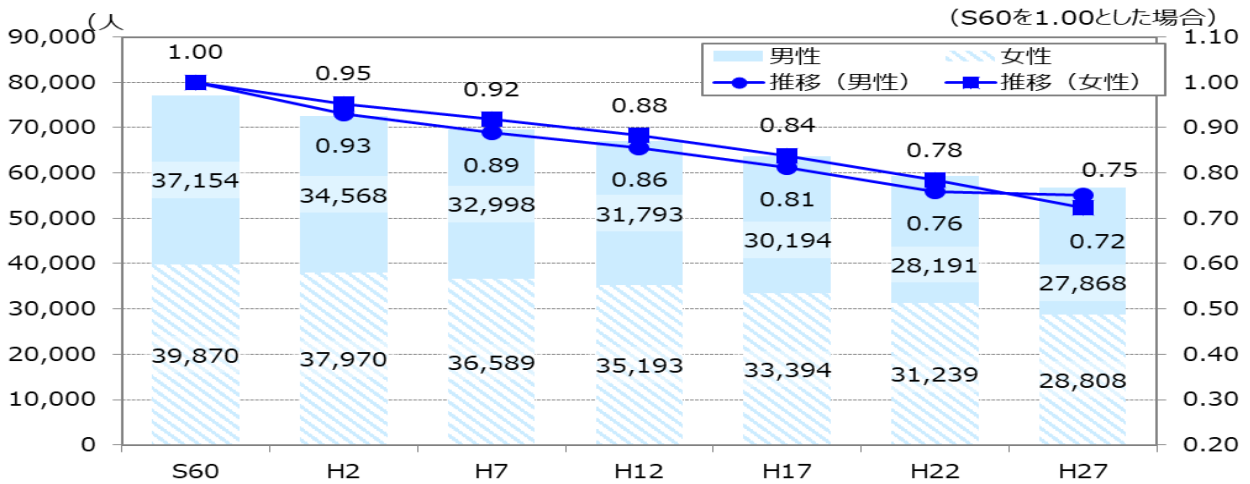
図 2 年齢 3 区分別人口の推移



(3) 男女別人口

① 男女別人口

- 宮古市の男女別人口を昭和 60 年からみると、年ごとに人口が減少し、平成 27 年には、男性が 27,868 人（対 S60 年比 0.75）、女性が 28,808 人（対 S60 年比 0.72）となっています。
- なお、人口の減少状況を見ると、毎年約 1,000 人以上が減少しています。

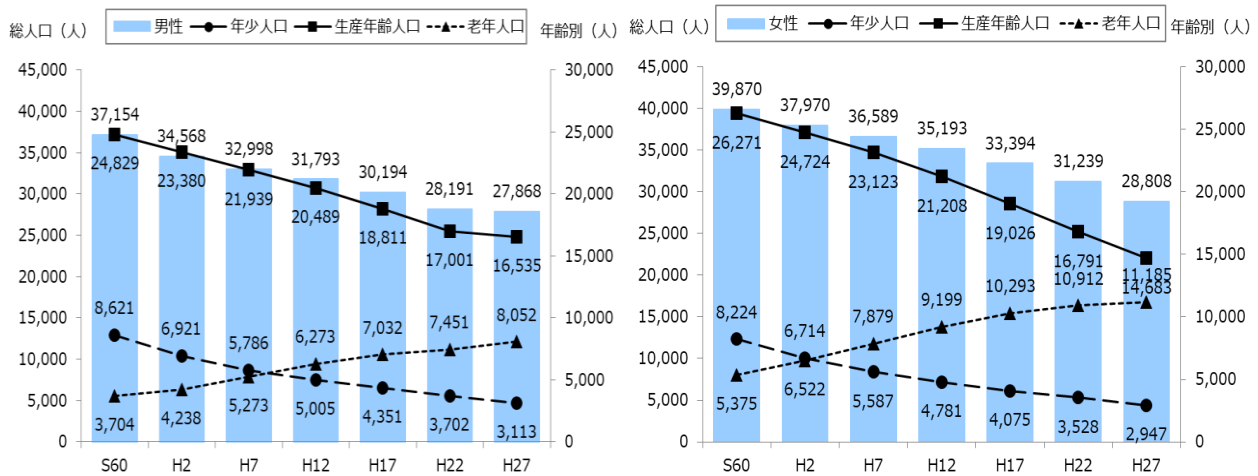


資料：総務省統計局「国勢調査」 総人口に年齢不詳含む

図 3 男女別人口の推移

② 男女別年齢 3 区分別人口

- 宮古市における年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）は、男女ともに年々減少しており、年少人口においては、男女ともに 25 年間で 6 割以上減少し、平成 27 年には男性が 3,113 人、女性が 2,947 人となっています。
- 一方で、老年人口（65 歳以上）は、男性では平成 12 年以降に、女性では平成 7 年以降に年少人口を上回っています。



資料：総務省統計局「国勢調査」

図 4 男女別年齢 3 区分別人口の推移 (左図：男性人口、右図：女性人口)



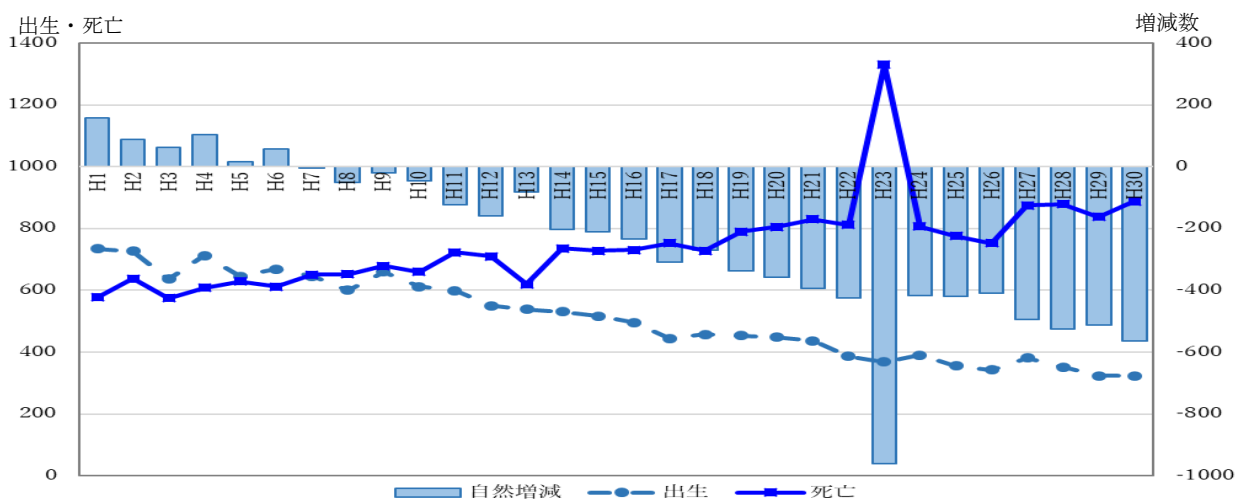
(4) 人口動態

① 自然動態（出生数と死亡者数）

- 平成7年以降、死亡者数が出生数を上回り、自然減となっています。
- 合計特殊出生率※は「S63～H4」から現在まで、岩手県の推移と同様に減少傾向でしたが、「H25～H29」に上昇傾向にあります。
- 合計特殊出生率の算出にあたっては、15～49歳女性の人口を基としていて、本市が今後、合計特殊出生率の向上を目指す上で、重要な要素の一つとなります。
- 当該年齢区分の女性人口が、昭和60年以降減少傾向にあることが、出生数の低下要因となっていると考えられます。

※平成24年以降の出生数、死亡者数は、平成24年7月9日住民基本台帳法の一部改正により外国人を含めた数字となっているため、平成24年以前の数字との単純比較はできなくなっています。

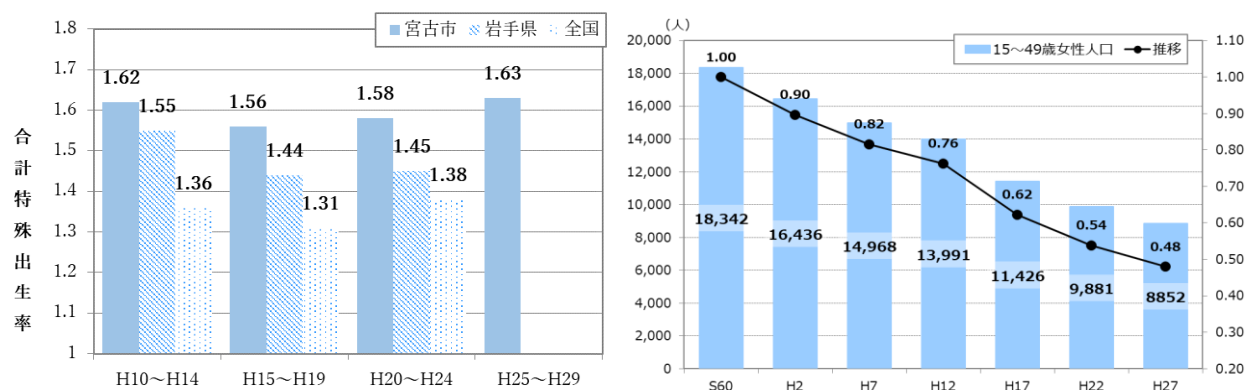
※「合計特殊出生率」：1人の女性が一生の間に生むであろう子どもの数を表し、15～49歳の女性の年齢ごとの出生率を合計した数字。



※平成24年8月以降の数値は住民基本台帳に記録されている外国人を含んでいる。

資料：厚生労働省「人口動態統計」、2018年は厚生労働省「人口動態統計月報年計（概数）」

図5 自然動態



資料：「人口動態保健所・市区町村別統計」厚生労働省、岩手県保健福祉年報

注1) 「H5～H9」以前の5年毎集計の「全国」結果は公表されていない。

注2) 「H15～H19」以前の「宮古市」の値は、旧宮古市のみの値である。

注3) 「H25～H29」は、岩手県保健福祉年報による

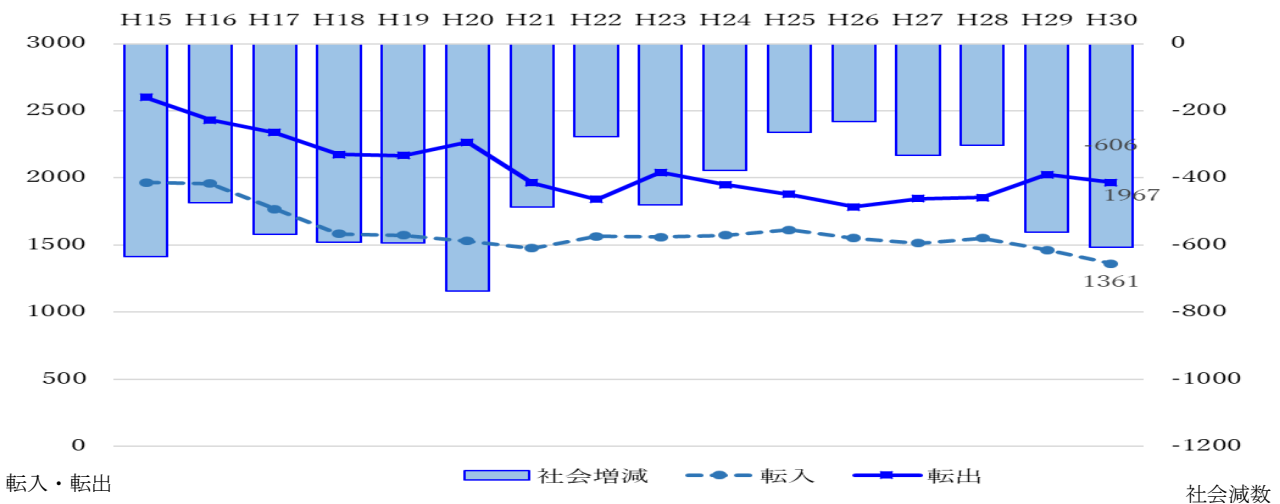
図6 合計特殊出生率及び15～49歳女性人口の推移



②社会動態（転入者数と転出者数）

- 宮古市の転出者数（宮古市から市外へ移り住む人数）は、減少傾向を示しており平成 26 年は 1,785 人となっています。
- 転入者数（市外から宮古市に移り住む人数）についても、平成 19 年までは減少傾向にありましたが、平成 20 年以降は横ばいとなっており、平成 26 年は 1,553 人が転入し、平成 26 年の社会増減数は△232 人となっています。
- 宮古市から県内への転出者は、市全体の転出者と概ね同じ傾向となっています。
- 県内への転入者については、全体的に減少傾向を示しており、平成 26 年は 804 人が転入し、平成 26 年の社会増減数は△271 人となっています。
- 宮古市から県外への転出者は、全体的に減少傾向を示し、平成 26 年は 710 人となっています。
- 県外からの転入者については、平成 17 年まで減少傾向にありましたが、平成 18 年以降は横ばいとなっており、平成 24 年以降は増加傾向を示しています。平成 26 年には 749 人が転入し、平成 26 年の社会増減数は 39 人となっています。

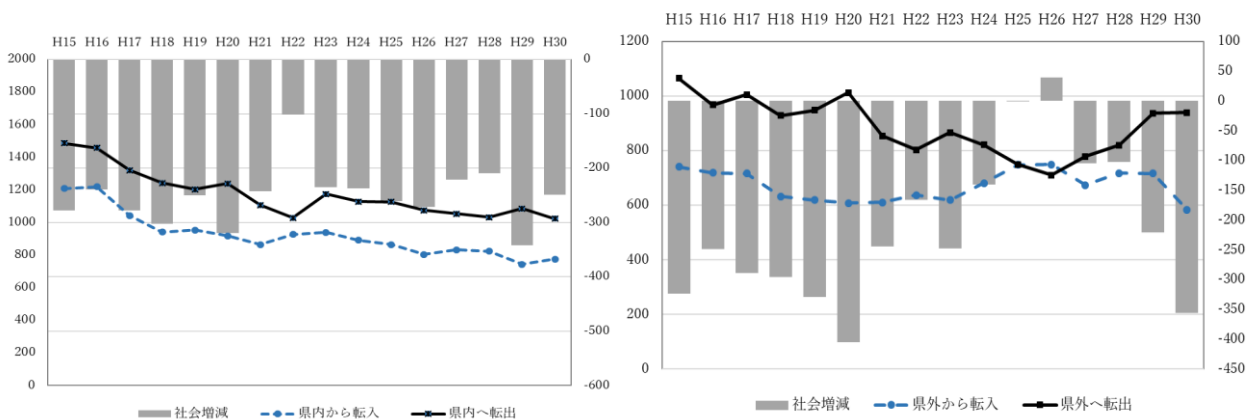
※なお、平成 24 年以降の転出者数、転入者数は、平成 24 年 7 月 9 日住民基本台帳法の一部改正により外国人を含めた数字となっているため、平成 24 年以前の数字との単純比較はできなくなっています。



※平成 24 年 8 月以降の数値は住民基本台帳に記録されている外国人を含んでいる。

資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

図 7 社会動態



資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

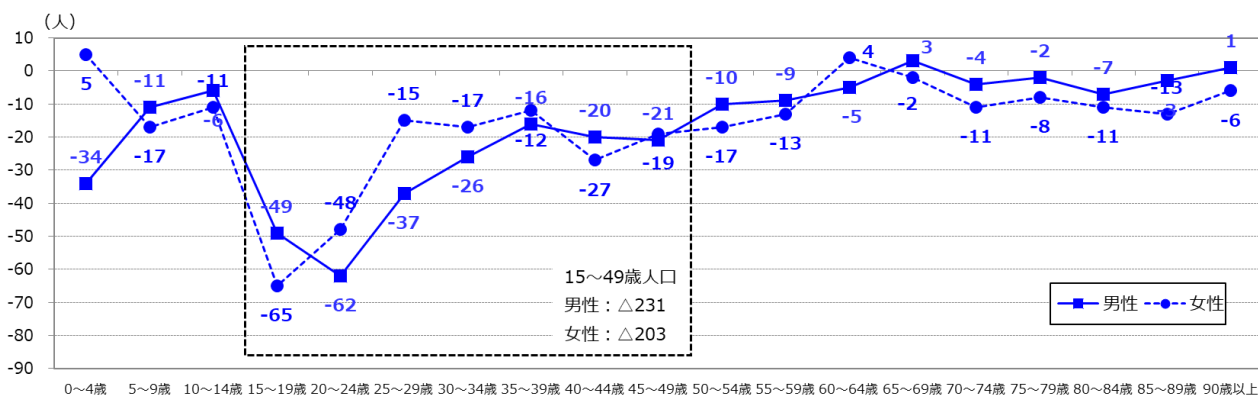
図 8 社会動態の内訳（左図：県内、右図：県外）



(5) 人口移動

① 男女別年齢別人口移動

- 15～24歳の若い世代での転出が多く、男性は△111人、女性は△113人の転出超過となっています。
- 平成30年の人口移動のうち15～49歳の男性人口は△231人、女性人口は△203人の転出超過となっています。



資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」

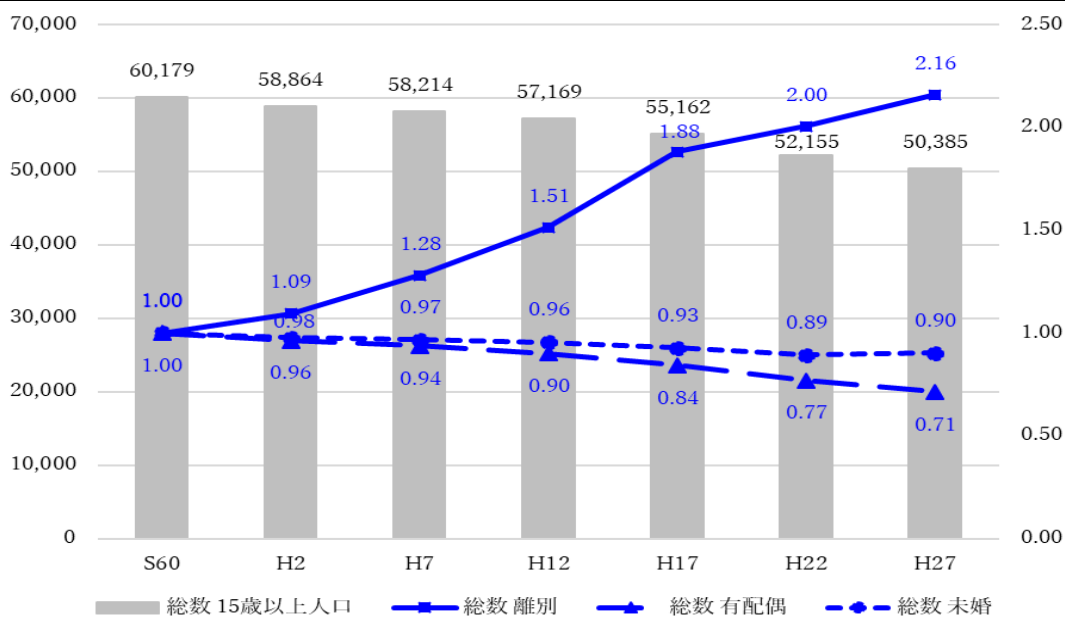
図9 男女別人口移動 (H30)

(6) 結婚・未婚の実態

① 結婚・未婚の推移

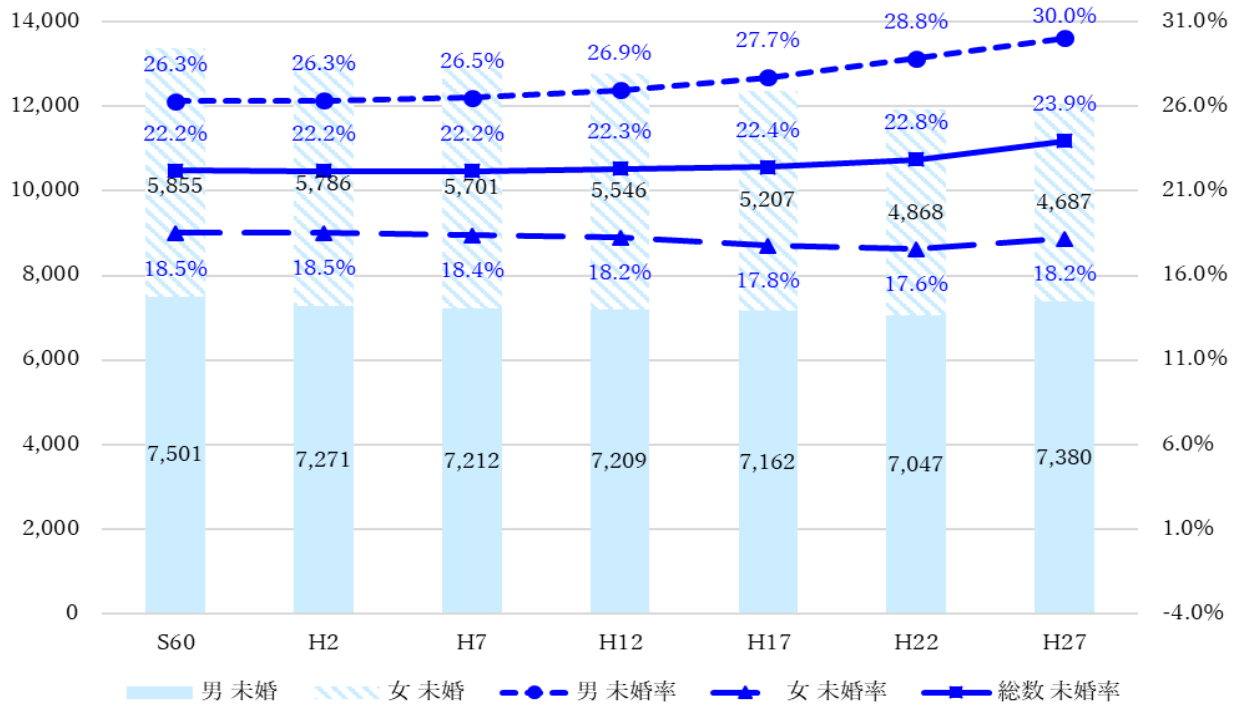
- 宮古市において、15歳以上人口は減少傾向にあり、有配偶（結婚した人）の数値も減少しています。離別の数値は増加傾向にあります。
- 宮古市の未婚率は全体では横ばい傾向で、男女別では男性の未婚率が増加し、女性の未婚率が減少しています。

※離別者数は当該年度に離婚をした人数だけでなく、離婚後に再婚をしていない人数の積み上げです。



資料：総務省統計局「国勢調査」

図10 宮古市の有配偶・未婚・離別の実数の推移



資料：総務省統計局「国勢調査」

図 11 宮古市の男女別未婚数・未婚率の推移

	男					女				
	15歳以上人口	有配偶	未婚	離別	未婚率	15歳以上人口	有配偶	未婚	離別	未婚率
S60	28,533	19,772	7,501	438	26.3%	31,646	19,933	5,855	880	18.5%
H2	27,618	18,962	7,271	462	26.3%	31,246	19,256	5,786	979	18.5%
H7	27,212	18,461	7,212	619	26.5%	31,002	18,724	5,701	1,069	18.4%
H12	26,762	17,846	7,209	721	26.9%	30,407	17,865	5,546	1,272	18.2%
H17	25,843	16,683	7,162	939	27.7%	29,319	16,749	5,207	1,539	17.8%
H22	24,452	15,275	7,047	981	28.8%	27,703	15,259	4,868	1,660	17.6%
H27	24,587	14,621	7,380	1,169	30.0%	25,798	13,700	4,687	1,674	18.2%

資料：総務省統計局「国勢調査」

表 1 宮古市の結婚・未婚・離別の実態